

安心・安全で希望に満ちた

暮らしをつくる

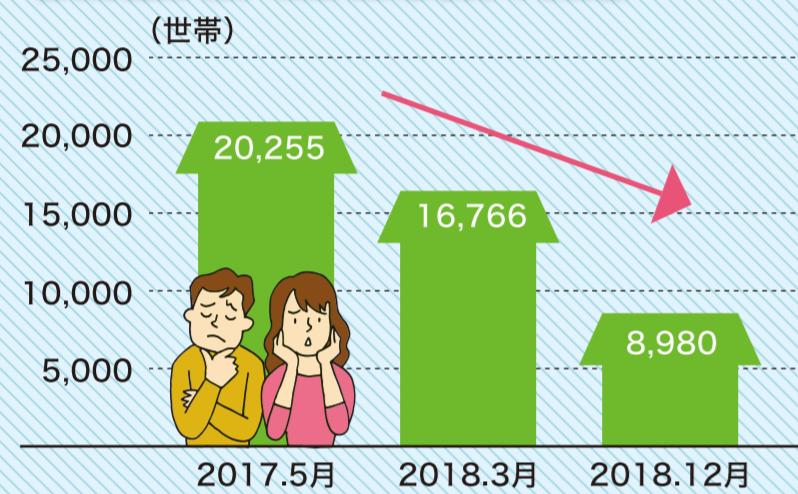
熊本地震からの創造的復興に向けた「すまいの再建支援」をはじめ、県では、県民の誰もが安心・安全でいきいきと希望に満ちた暮らしができるよう取り組んでいます。

すまいの再建を支援



ピーク時には約2万世帯の方が仮設住宅にお住まいでしたが、昨年12月現在で、約6割の方が住まいの再建を実現されました。いまだ仮設住宅での生活を余儀なくされている約9千世帯の方々の一日も早い生活再建に向けて、県を挙げて取り組んでいます。

仮設住宅入居世帯数の推移



災害公営住宅の整備も進んでいます!



2018年6月には、西原村で、県内初の災害公営住宅が建設され、その他の市町村でも整備が進んでいます。2020年の春には、県内全ての住宅1,717戸が完成する予定です。

医療・福祉体制を築く

医療機関などの連携や人材育成で、在宅医療のサポート体制を強化



熊本県在宅医療サポートセンター1カ所、地域在宅医療サポートセンター13カ所を指定(2019.1月末現在)し、地域の特性に応じた日常の療養支援や急変時の対応など、必要な医療の提供体制の強化を図ります。



阿蘇の医療・福祉の復興を応援!

地震により被災した阿蘇地域では、医療・福祉人材の確保が深刻な問題となっています。県では、短期間、復興支援のために就労していただく看護職員や介護職員を募集し、全国各地から駆け付けていただいている。



詳しくはこち
【お問い合わせ】
(看護職員について)
熊本県ナースセンター
TEL:096-365-7660
(介護職員について)
熊本県福祉人材・研修センター
TEL:096-322-8077

熊本に移住し
働き続けて
いらっしゃる
方も!



高齢者の活躍を促進

「生きがい就労」の総合相談窓口を開設しました



ウルトラ 65+

熊本市中央区の熊本県総合福祉センター1階に、昨年9月に「生涯現役プラザくまもと」が開所しました。最適なマッチング機関のご案内や就労などの情報提供、相談受け付けなどを行います。

【ご利用時間】土日祝日、年末年始を除く9時~12時および13時~16時

【お問い合わせ】生涯現役プラザくまもと
(熊本県生涯現役促進地域連携協議会) TEL:096-327-8777

ウルトラマンの
マークが目印です

介護の現場で活躍されています!



利用者さんとの会話が楽しいし、介護職の若いスタッフから「助かっている」と言われることが何よりうれしいです。これからも働き続けたいと思っています。

介護アシスタントとして働く
中村真里子さん(左)・中津末子さん(右)



隙間時間を有効活用できる仕事だと、高齢な方でも趣味と仕事の両立が可能です。また雇用側から見ても、補助をお願いできることで介護職員が本来の業務に専念でき、役割分担が明確になります。やる気や体力のある高齢者スタッフは、これからの時代になくてはならない存在です。

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会
山田 和彦会長

仕事と生活の充実を応援

よかボス企業増てます!

2017年8月に知事が、職員の仕事と生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行い、県全体に「よかボス」を増やす働き掛けを行ってきました。その結果、多様な業種の企業・団体の代表者や市町村長に賛同していただいています。



熊本によかボス企業
が増えて、働きやすい
社会になるといいな。

「よかボス」の企業・団体
は258、「よかボス」の企業・団体
のある市町村は29(2019.2.1
現在)になったんだって!



熊本県内の大学生で構成
される「たより隊」が熊本県
のお知らせを、分かりやすく
レポートします。熊本学園
大学・植崎里己さん、熊本
学園大学・富永航平さん



「よかボス」とは?

自ら仕事と生活の充実に取り組むとともに、共に働く社員の仕事と、結婚や子育てなど生活の充実を応援するボスのこと。県では、「よかボス企業」が結婚や子育てのしやすい環境をつくるためのサポートをしています。

現在、女性役員を含む21人が「よかボス」です。時短勤務制度や学童保育の開設などにより、従業員のワークライフバランスの実現を支援しています。「よかボス宣言」を皮切りに、ボスの意識も変わり、今まで以上に従業員一人一人の幸せを応援したいという気持ちが強くなりました。

株式会社 えがおホールディングス
松本泉さん・中村義明さん